



証券コード：9326 株式会社関通

2025/1/14

2025年2月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月期 第3四半期 サマリー

■2024年9月、外部からのサイバー攻撃を受け9月以降、お客様の信頼と事業インフラの回復を【継続的な事業成長】を成し得るものとすべく全体見直しを推進中

■第3四半期 連結累計(前年同期比)

売上高 +2,507百万円

↳2023年12月設立子会社「関通ネクストロジ」を連結計上開始

経常利益 △315百万円

↳サイバー攻撃により一定期間事業が停止していた影響

■第3四半期 連結累計(計画比)

売上高 △381百万円

↳サイバー攻撃の影響で未達

経常利益 △281百万円

↳サイバー攻撃対応で労務費関連が増加した影響

サイバー攻撃に関して 発生後の取り組み

皆様には、先般発生いたしましたサイバー攻撃により、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。現在、お客様・株主の皆様・従業員への影響を最小限に抑えるべく、事業の再構築と早期の業績回復に向けて、全力を尽くしております。

■発生後の取り組み

- ・ 専門家チームによるセキュリティ強化

外部のセキュリティ専門機関と連携し外部からの通信を制限する等、再発防止策を実施致しました

- ・ システムの再構築

既存環境を復旧せず、新しく環境構築する意思決定により早期復旧を最優先に対応致しました。

- ・ お客様へのサポート

影響を受けたお客様には、すべてのお客様に個別に状況をご説明し、早期復旧および代替サービスを提供しております

サイバー攻撃に関して 今後について

■今後について

今回のサイバー攻撃をセキュリティ対策を抜本的に見直し強化する機会と捉え、環境の構築を進めております。お客様への賠償含む今後の対応は自己資金および保険にて対応致します。

・最新のセキュリティ技術を導入

全社的なセキュリティ関連システムの見直し、入れ替えを実施し、常時監視ツールの導入も並行して実施致しました。加えて外部からのアクセスを制限することを継続することで外部専門家と引き続き安全な環境維持を図っております。

・組織改編により情報システム管理部を設置

ITインフラチーム・システム運営チーム・セキュリティ監査チームを形成し、運用、監視体制の強化、経営陣への継続的かつ、速やかな報告体制を構築致しました。

・従業員へのセキュリティ教育の強化

将来発生しうる脅威にも対応できる意識と行動の改善

・成長戦略の再構築

今件を受けてこれまで検討してきた成長戦略を見直し、ゼロベースで関通のサステナブルな将来像を描きビジネスモデルを検討中（開示できる状況下であらためて公表させていただきます）



1. 前年同期比

【対前年同期比・連結】2025年2月期 第3四半期

■サイバー攻撃の影響によるお客様の解約影響は軽微。ネクストロジ分の計上も加わり売上は前期比増
サイバー攻撃対応で、労務費関連が増加したことに起因し、[営業利益]・[経常利益]は前期比減
[親会社株主に帰属する当期純利益]はサイバー関連の特別損失を計上した影響

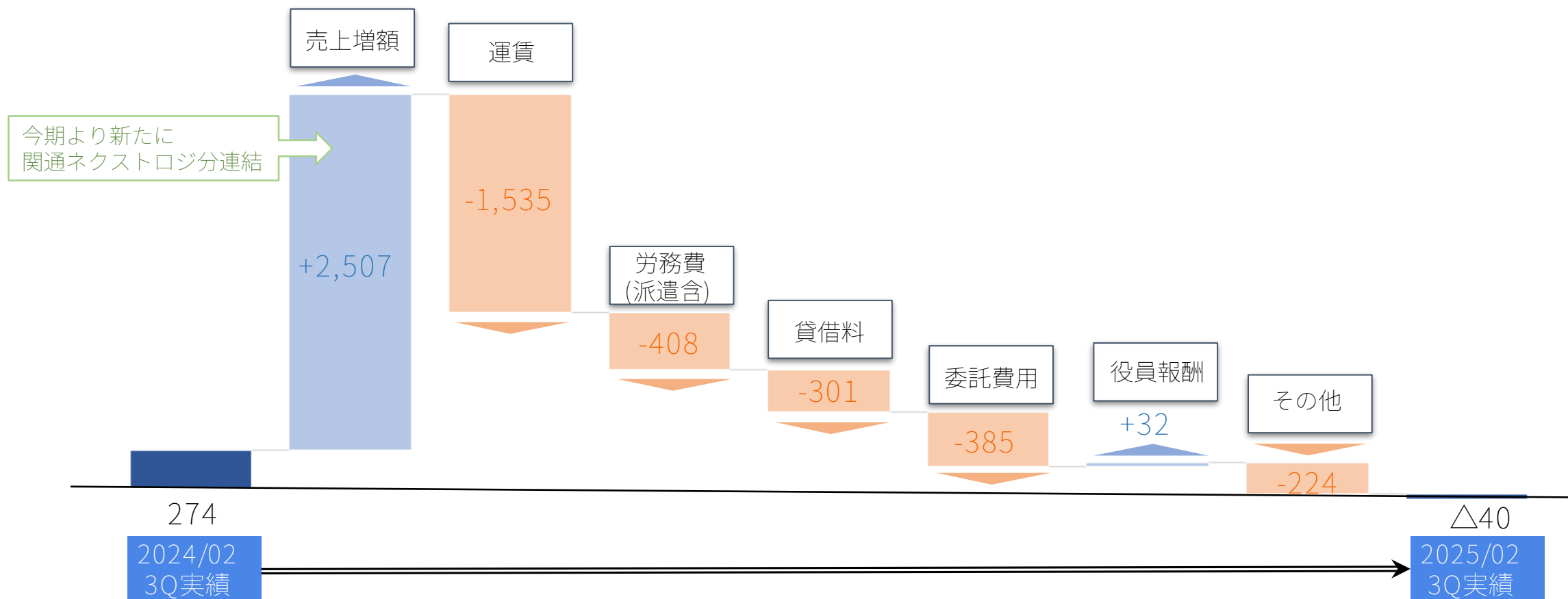
(単位：百万円)

| | 2024/2期 第3四半期 [実績・連結] | 2025/2期 第3四半期 [実績・連結] | 前年同期比 | |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 8,680 | 11,188 | +2,507 | +28.8 |
| 営業利益 | 271 | △12 | △283 | - |
| 経常利益 | 274 | △40 | △315 | - |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 193 | △443 | △636 | - |

【対前年同期比・連結】 経常利益 増減分析

■ 運賃売上の占める割合が増えたことによる影響に加え、サイバー攻撃による労務費増加が影響し、経常利益は前期比減

(単位：百万円)





II. 計畫比

【対計画比・連結】 2025年2月期 第3四半期

■サイバー攻撃の影響により、[売上高]・[営業利益]・[経常利益]・[親会社株主に帰属する当期純利益]とも計画未達

※下記、2025/2期第3四半期[計画・連結]の数値は2024年4月に開示した数値を使用しております、修正後ではございません。

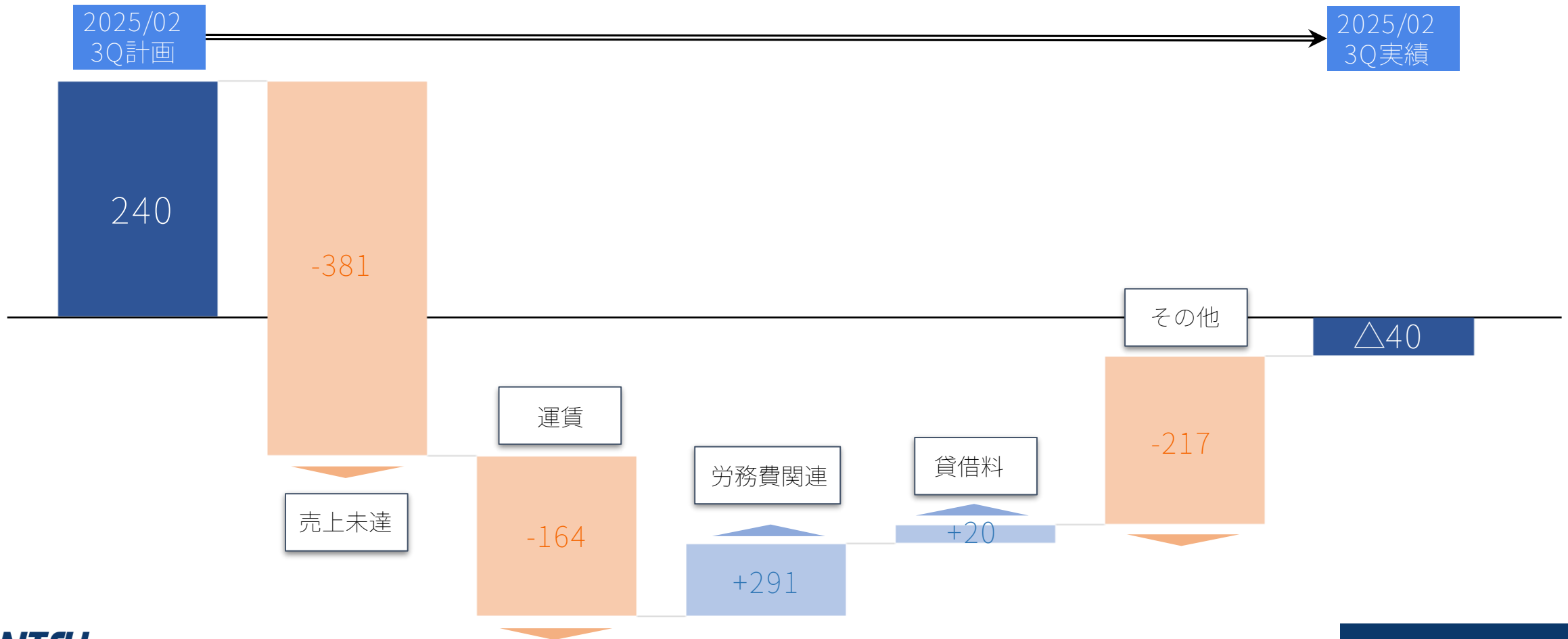
| | 2025/2期 第3四半期 [計画・連結] | 2025/2期 第3四半期 [実績・連結] | 計画比 | |
|---------------------|-----------------------------|-----------------------------|------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 11,570 | 11,188 | △381 | △3.3 |
| 営業利益 | 253 | △12 | △266 | - |
| 経常利益 | 240 | △40 | △281 | - |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 162 | △443 | △605 | - |

【対計画比・連結】 経常利益 増減分析

■売上高はサイバー攻撃の影響で話が進んでいた新規案件が解消となり計画ほど伸びず
労務費関連も売上に伴い、圧縮すべきだがサイバー攻撃への対応で追加計上したことが主な要因となり利益計画未達

※下記、2025/2_3Q計画の数値は2024年4月に開示した数値を使用しております、修正後ではございません。

(単位：百万円)



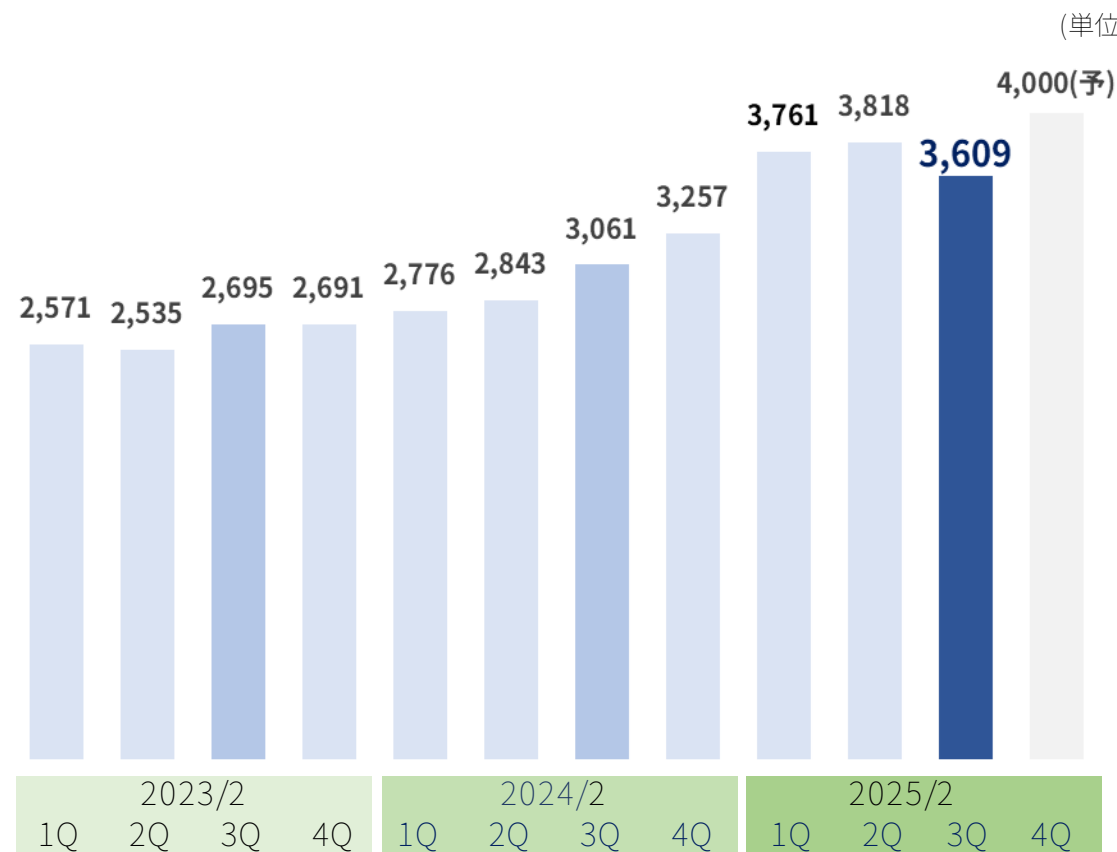


III. 四半期別

売上高・経常利益 四半期推移

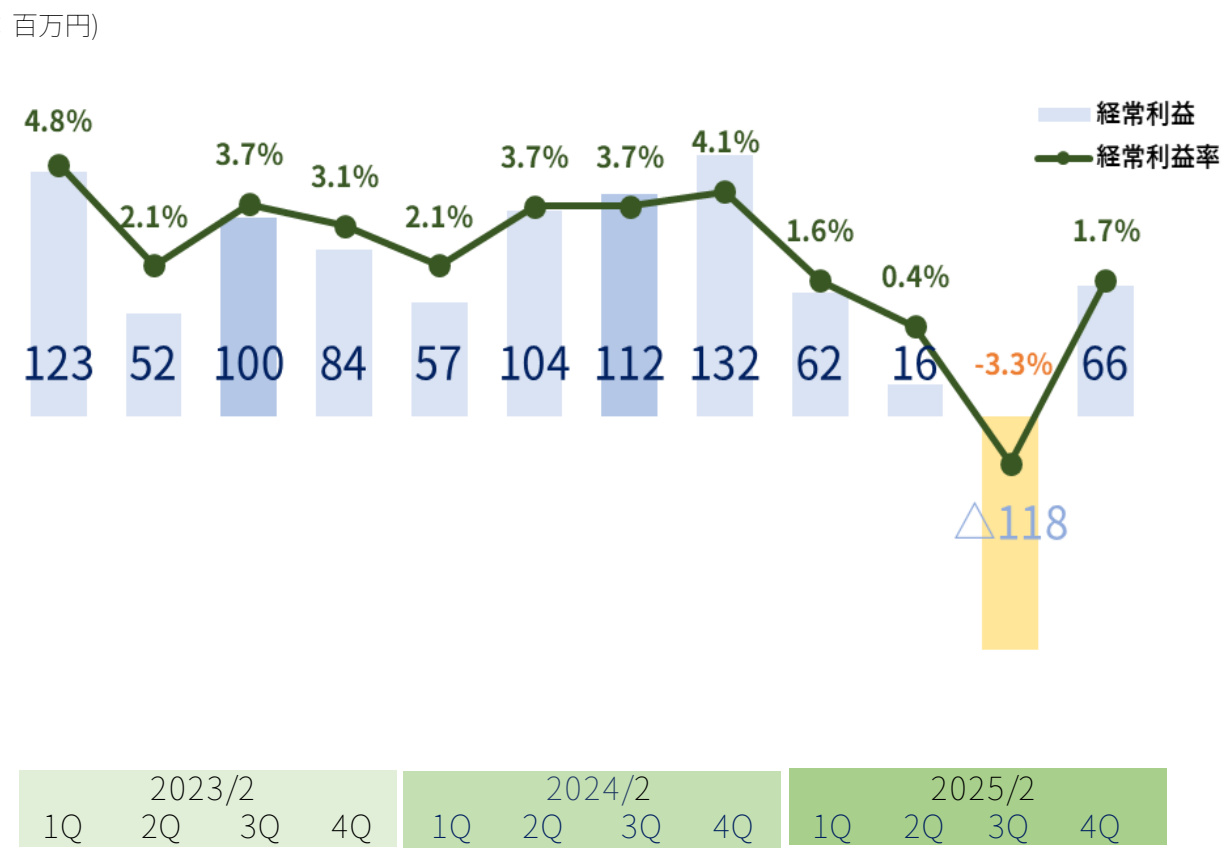
連結 四半期売上高

- 第3四半期、サイバー攻撃の影響で今第2四半期比△209百万円
- 当初計画比では△468百万円と大きく未達
- 第4四半期では下方修正後ながら4,000百万円見込
L四半期過去最高の見込み



連結 四半期経常利益

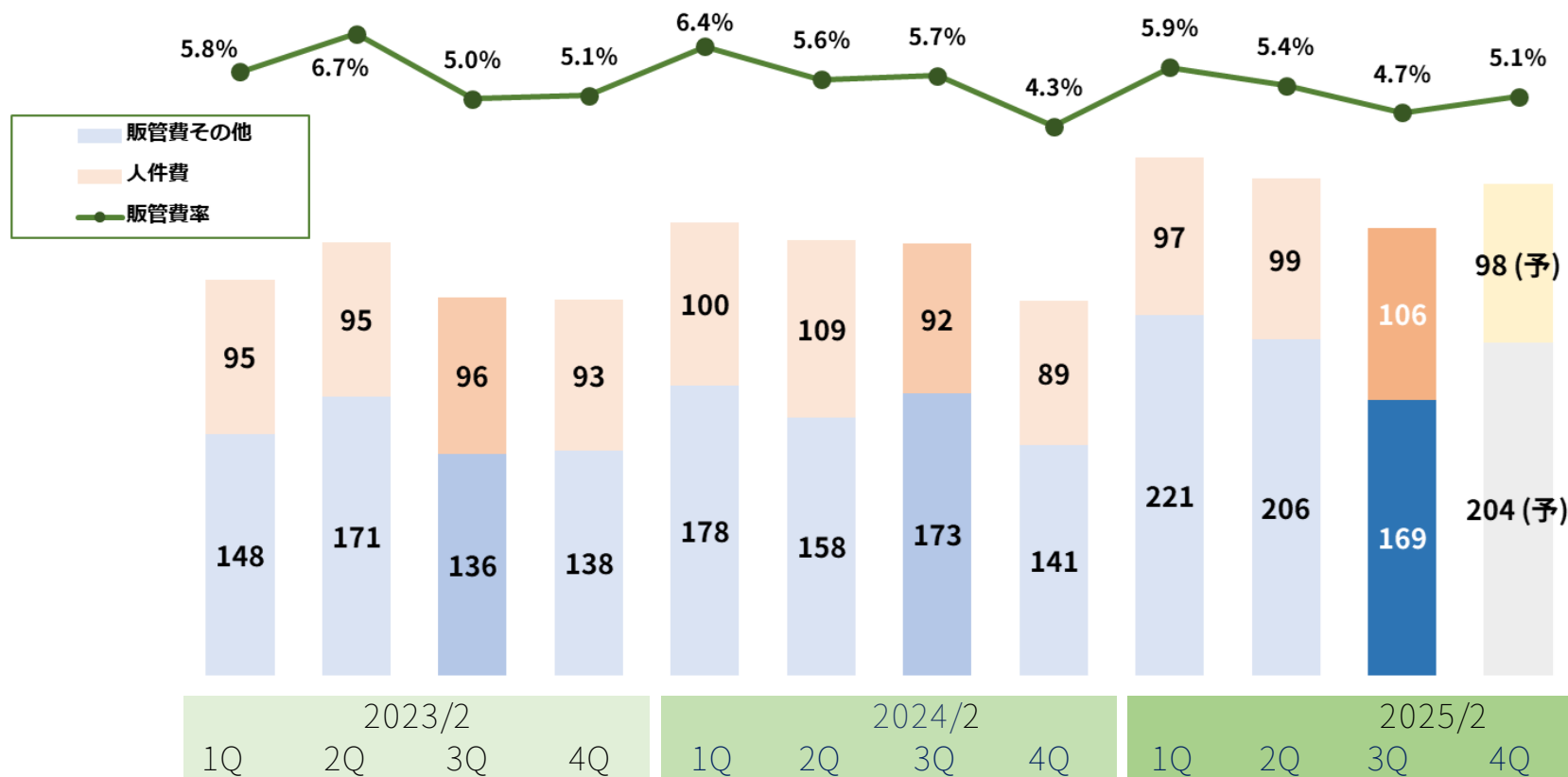
- 第3四半期では、サイバー攻撃の影響でマイナス計上
- 第4四半期では回復途上、利益率は1%台も黒字見込



販管費 四半期推移

サイバー攻撃を受けたことにより人件費増もその他の販管費では前年同期比△4百万円とコストセービングを実行安定した対売上比率を継続

単位：百万円





IV. セグメント別

【対前年同期比・連結】セグメント別

(単位：百万円)

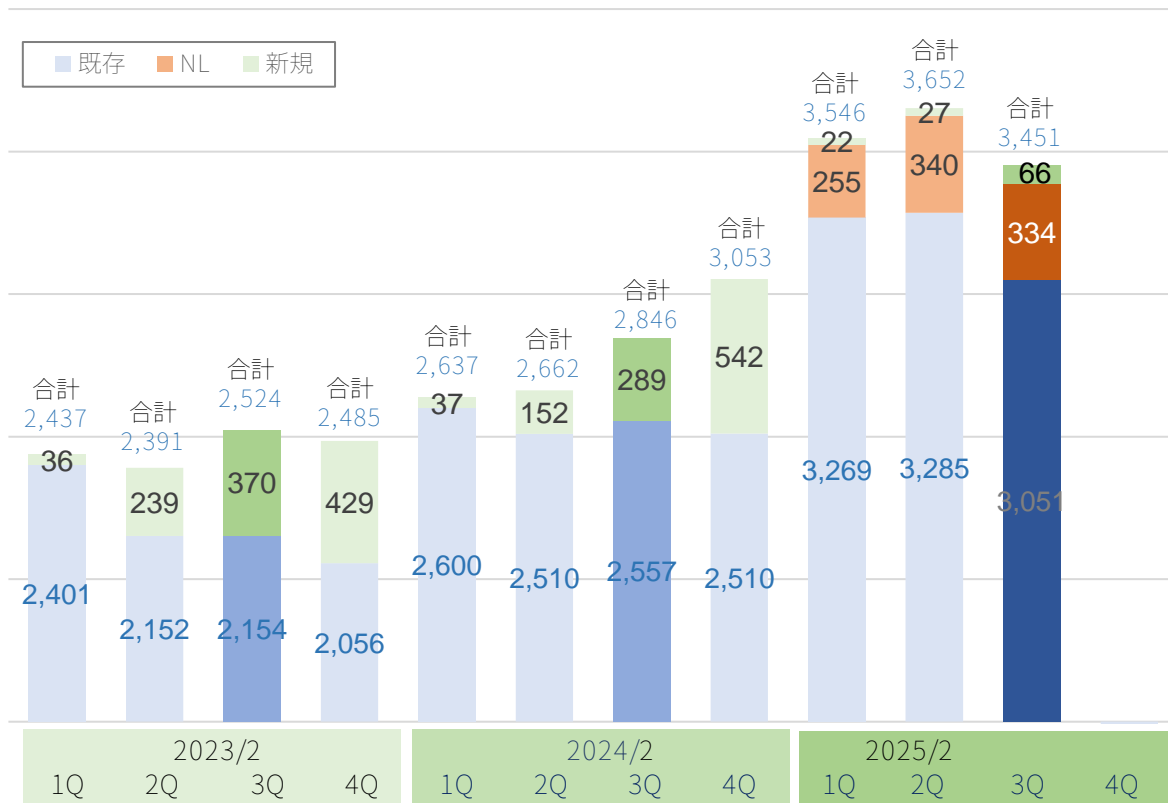
■ 物流サービス事業の売上は関通ネクストロジ分が前年比で増加したが、サイバー攻撃による労務費増加で利益マイナス
■ ITオートメーション事業は上期の積上からサイバー攻撃影響で解約や利用料請求未発生など発生し、利用料売上が想定以上に伸長せず。新規営業、広告の停止、復旧業務を優先したことにより経費圧縮されたため利益増。

| | | 2024/2期 第3四半期 [実績] | 2025/2期 第3四半期 [実績] | 前年同期比 増減率(%) |
|--------------|------|--------------------------|--------------------------|-----------------|
| 物流サービス事業 | 売上高 | 8,145 | 10,649 | +30.7 |
| | 営業利益 | 61 | △224 | - |
| SaaS利用料 | 売上高 | 253 | 264 | +4.3 |
| 機器・導入・開発 | 売上高 | 203 | 196 | △3.4 |
| ITオートメーション事業 | 売上高 | 456 | 460 | +0.9 |
| 合計 | 営業利益 | 210 | 247 | +17.6 |

物流サービス事業売上高 四半期推移

物流サービス事業 四半期売上高

単位：百万円



第3四半期

サイバー攻撃の影響により、第3四半期の初月である9月から一部事業停止。既存のお客様は個別に対応し徐々に回復も、第3四半期単体では前期比△234百万円。



第4四半期以降

新規の営業を再開も第4四半期の計上は困難。保守的な着地見込。

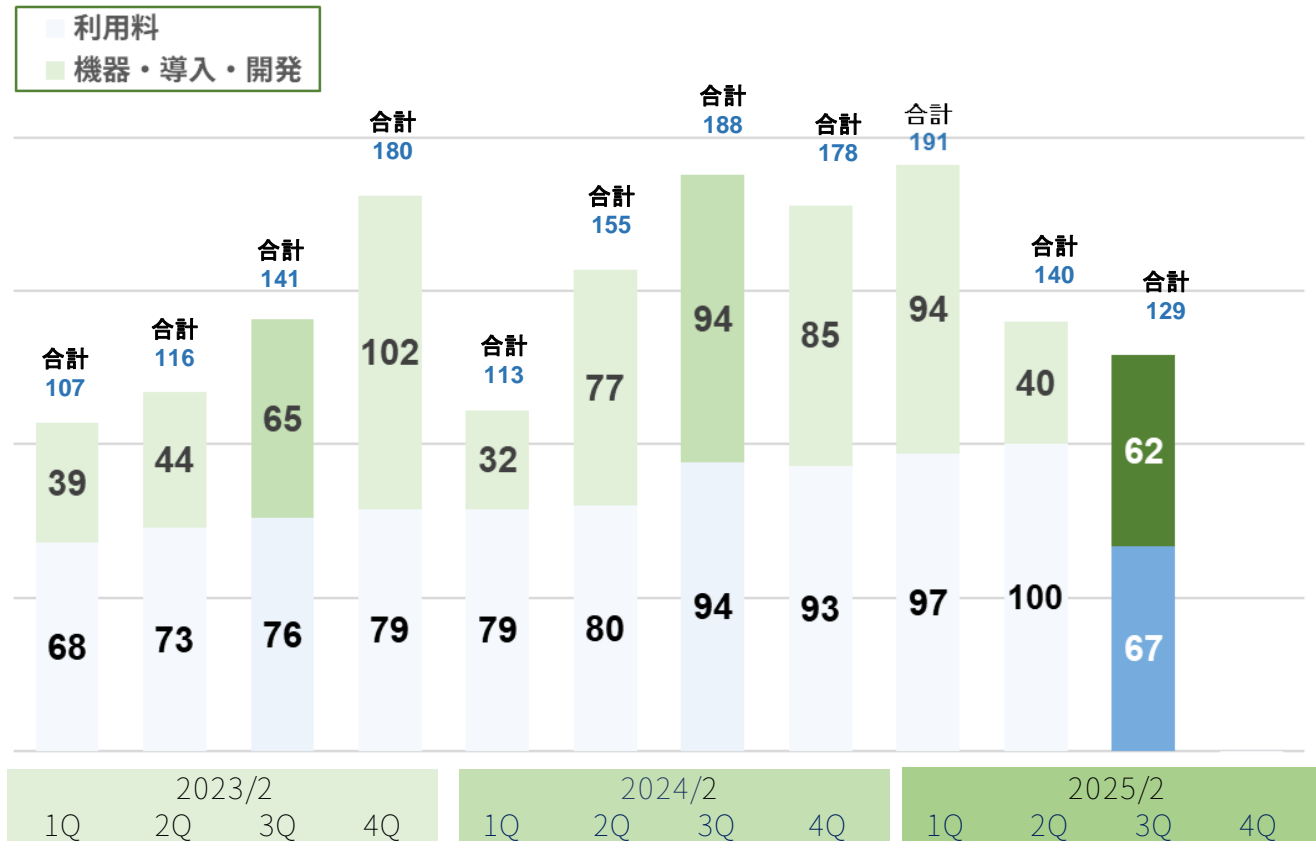
40期となる2026年2月期に向けた戦略をゼロベースで検討中。

※一部、新規お客様の計上月の変更による数値修正により、開示済みの数値との明細差異が御座いますが事業合計金額に変更はございません

ITオートメーション事業売上高 四半期推移

ITオートメーション事業 四半期売上高

単位：百万円



■ 第3四半期

[利用料]

2024年9月発生 of サイバー攻撃の影響、
四半期での利用料が大幅減

[機器・導入・開発]

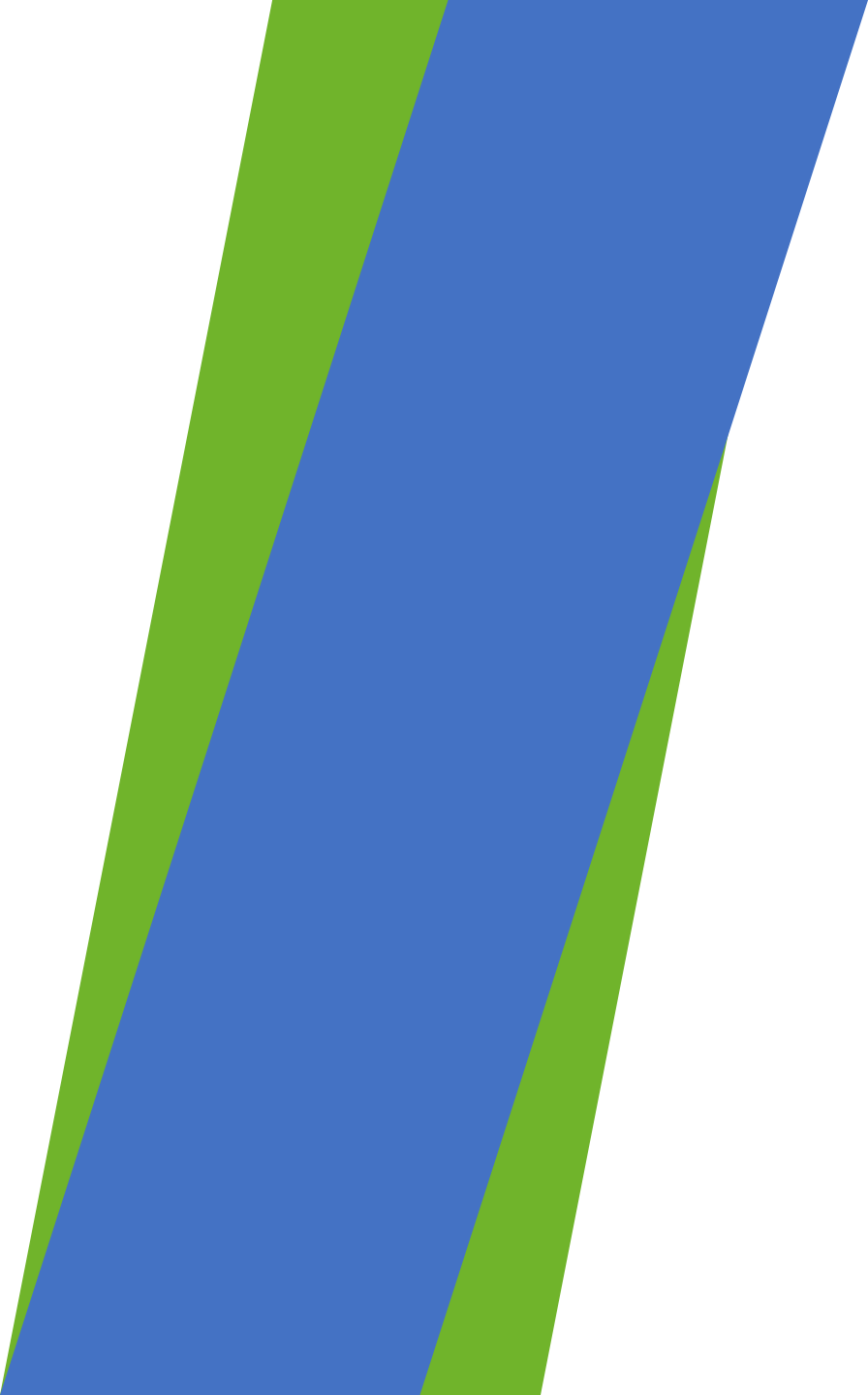
機器の販売分が計上



■ 第4四半期以降

利用料のストック型モデルは仕切り直し

※一部、SaaS利用料と機器・導入・開発の数値修正により、
前期開示の数値との明細差異が御座いますが事業合計金額に変更はございません



V . 2025年2月期
連結業績予想
(下方修正)

【計画の下方修正】 2025年2月期 連結

■サイバー攻撃後の影響を慎重に検討して通期着地として計上
親会社株主に帰属する当期純利益は、サイバー関連費用等を特別損失として計上した結果マイナス着地見込
今後、着実な成長を志すべく成長戦略を検討していく

(単位：百万円)

| | 2025/2期 通期累計 [当初計画] | 2025/2期 通期累計 [下方修正後計画] | 前期比 | |
|---------------------|---------------------------|------------------------------|--------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 15,871 | 15,188 | △683 | △4.3 |
| 営業利益 | 542 | 57 | △485 | △89.4 |
| 経常利益 | 522 | 26 | △496 | △95.0 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 352 | △742 | △1,094 | — |

【計画の下方修正】 特別損失の計上

- サイバー攻撃後、様々な形で業績に影響を及ぼす事象が発生。
下記のとおり、今件の影響を慎重に検討して特別損失として計上することといたしました。
今件に伴う損失は2025年2月期で全て計上完了とする見込みです。

(単位：百万円)

| サイバー攻撃に起因する特別損失の計上内容 | 金額 |
|---|-----|
| 被害を受けた環境で開発や使用していたソフトウェア、仕掛品、工具器具備品等の除却 | 589 |
| 再度のサイバー攻撃を回避するべく、新たに強化されたセキュリティ体制の構築のためセキュリティ対策費 | 256 |
| 主に当社のお客様が受けた被害等への損害賠償に関連する費用の見積り | 146 |
| 当社が、関連会社と新たに共同開発していた発注自動化システム「ECOMS」の開発を、本件により中止したことに伴う損失 | 991 |
| 合計 | 991 |

免責事項

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内およびに国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】

株式会社関通 IR担当

お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。

URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

